



# NEWSLETTER

第38号 2002年10月1日発行

歯科保健医療国際協力協議会

事務局：〒341-0003 埼玉県三郷市彦成 3-86 TEL&FAX：048-957-2268

発行：深井穰博 編集：平居夕紀子 現会員数：245名

Japan Association of International Cooperation for Oral Health

## 巻頭言

私が行っている中国での活動

JAICOH理事  
北京朝陽天衛診療所

田中健一

中国で歯科医師ライセンスを取得したのが縁で、中国を訪れる機会が増えました。

私が非常勤で勤務する診療所は日中合弁で作られた「北京朝陽天衛診療所」といい、外来機能を重視して二年前に設立されました。この診療所には内科、外科、小児科、中医科、歯科があります。日本から医師三名、看護婦二名、歯科医師一名、衛生士一名、さらに現地スタッフ六名が勤務しています。

患者は日本人が多数を占めますが、経済発展を反映して裕福な中国人も来院します。この診療所は、ボランティアではありません。その診療費は高額です。歯科に限っても日本より診療費は高いほどです。

しかし、一年を経過して考えると、ニーズがある所に相応しいサービスを提供することも、海外における、一つの医療の進め方ではないかという事です。

私はこのような環境の中で報酬を戴いています。ですから、「医療が提供しなければならぬサービスとはなにか」ということについて常に検

討させられています。

同時に、ここにいると生きた日中関係も体験することになります。というの（私が現地で経験する限り）マスクミ等で放送されるように、日中関係が良好ではないことを身をもって実感するからです。

マスクミは、戦争を経験した世代が厳しい日本観を有しているように報道していますが、実際に厳しい意見を述べているのは若い世代です。「日本は戦争を引き起こしたことを未だに反省していない」「表面的に謝罪しているだけ」「日本では誤った歴史を教えている」等々の意見を聞きま

す。その中で、どうしたら良い方向へ日中関係を持つていけるかについて、中国に行く度に考えさせられます。その結論として出した私の答えが、教育に投資することです。

戴いた給与を丸々日本に持って来ることが決して不可能ではありませんが（現にそうしている者の方が多数）、私は給与のある割合を教育のために使おうと考えました。

「希望行程」というプログラムがあります。これは優秀な高校や大学に合格しても、家庭の経済的事情で進学できない生徒を支援するプログラムです。私は一クラス四十五名の高校生の朝ご飯代をサポートしています。

サポートする人の中には、大学の授業料、留学費用を出す人など様々です。私は歯科の一人として食べるということにこだわりたいと思いい、また、朝ご飯を食べることができない生徒が多いことを聞き、この支援を考えました。その代わりに私に与えられている権利（私が提示した要求）は年一回その生徒たちの前で講演する、ということ

です。そこで「私が考える日中関係」をお話するつもりです。異なった教育を受けた高校生とは、かみ合わないことも考えられますが、歴史認識の相違は我々が乗り越えていかなければならない問題だと考えています。私が中国で活力ある仕事ができるのは、こんな若い世代と一緒にできるからなのです。少しずつ変化していると感じています。

NGOが活動をする時、どうしても資金集めがネックになります。なかなか資金集めに困ってはみなノウハウを提供しがらないのも事実です。グラウンドがぶつかってしまいうということもあります。こんなやり方もあるのだということを理解してもらい、この文章がその解決のヒントになれば幸いです。

たなかけんいち▽東京都清瀬喜望園病院・北京朝陽天衛診療所勤務、東京医科歯科大学国際交流委員会所属

# J A I C O H 事業報告

その国にとって有意義な活動とは  
J A I C O H 理事  
南太平洋医療隊  
時田信久

南太平洋医療隊は九八年に発足。今年九月のトンガへの派遣が六回目になりました。

発足して四年。どんな医療活動がその国に必要なのかわかるまで四年かかりました。

「こんな活動が良い」と思っても迷惑なこともあるかもしれません。何しろ我々は八日仕事休んで行っても、滞在は三日から四日。しかも二〇人位で来て、あつという間に帰ってしまう。歯科医療を通じた「交流」はできたとしても、医療活動に関しては不十分でした。

「口腔外科の先生が必要」と、毎回、外科の先生にも参加していただきましたが、滞在中に必ずしも外科の患者が来院するとはかぎりません。そこで現地の歯科医に日本で教育を受けてもらい、難しい口腔外科手術をマスターして帰ればもつと役に立つと気がついたのです。それでトンガの歯科医が日大松戸歯学部留学することになりました。

現地での歯科治療は、根治するに材料もないため、抜歯が多くなります。離島から来る島民はその日のうちに疼痛から解放しなければなら

ないためのやむなく抜歯になるわけです。それならば虫歯を作らないように、例え年数がかかっても将来のために、衛生活動をしっかりと行うことにしました。

しかし、フッ素塗布をしようにも簡単に受け入れてくれないことには困惑しました。我々をそれほど信用していません。フッ素の報告書を提出し、理解あるトンガの若い先生の協力を得て実現しました。

日大松戸歯学部の小林先生の指導に従い活動しております。



トンガの小学校での健診  
子供たちの体格の良さにびっくり!

ときたのがひびさマ城西歯科大卒。92年よりヴァヌアツへ医療を送る会をはじめ南太平洋へ歯科医療を送る会をへて今日に至る坂戸市にて開業。

## from student

学生の視点から

北海道大学歯学部六年 村井真介

「ガリッ」という音とともに、僕の歯から何か外れた。インレーだった。こんなところに歯科医がいるのだろうか？ 夜も更けてやっと見つけた歯科医は「フイリングしかやらないよ」とつめたい。合着用セメントを持っていないというのだ。まさかそんなはずはないだろうと、再度訊ねるが、無いの一点張り。二次う蝕ではないみたいだし、MODインレーということ思いだし、ぐつとこらえて夜を明かした。

ここは、インド・ラダックのレー、標高三四〇〇mの街だ。バスに乗り続けること三日間。山あり谷あり、道無き道を行き、その挙句一日目の夜にこの様だ。かなりブルーになった。今や目的はラダックの美しい仏教美術でも、チベット難民との交流でもなくなった。とにかく歯を治したい。その一心で次の日も歯科を探した。そうして訪れた総合病院。ここは一般の人たちが利用する病院で治療費は無料、しかしさんざん待たされて、またもやフイリングのみだった。臨床実習で患者さんを診るようになって、外れたインレーを合着し直すのは、自分の歯であっても

J A I C O H NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

**11か国語対訳  
歯科診療会話集**

吉田けい子

1ページ会話文とし、約370の会話表現に「英語」「インドネシア語」「中国語」「ポルトガル語」「タイ語」「韓国語」「アラビア語」「スペイン語」「ベトナム語」「ミャンマー語」「シンハラ語」の訳をつけました。

●A5判414P ●定価(本体3,000円+税) ●送料340円

財団法人 口腔保健協会  
TEL: 03-3947-8301 FAX: 03-3947-8073

「毎日、毎日……」  
「繰り返し、繰り返し」

使いたくなる  
ホームケア歯ブラシ

「ホームケア」歯ブラシ  
株式会社 永山

☎0120-118418  
FAX☎0120-648581

「GC」

はじめての  
コンジット直接充填!  
はじめての1液性セルフ  
エッチングプライマー!

■長期的なフッ素の徐放。  
■ビタシェード9色+A03、CV。

**ユニフィリポンド**

■中和不硬、高便2ステップ。  
■接着性モノマー「4-MET」による優れた接着性。

株式会社 ジーシー  
DICフューダイアル ☎0120-416480

やってやれないことはないと思う。しかし、合着するセメント、材料が無いのではそれも叶わない。知識とのギャップにもどかしい思いをした。

しかし、その地域でできる最善の治療法で僕を助けてくれようとした現地の歯科医たちには今も感謝している。(僕のインド日記 ラダック編)

こんなことがあって、諸先生方が言っていた「地域に適した歯科医療」とはどういうことなのか身をもってわかったような気がします。日本で一般に行われている治療法を海外で実践しようにも、その地域で材料や器具それに治療法が普及していないかもしれない。一時的に患者さんはすごく喜んでくれるかもしれないけれど、僕のようにインレーが外れてもそこに入れ直してもらうことはできません。結局フィリングになってしまいます。他にも例はいろいろ考えられます。

予防は時間がかかります。今痛がっている人には治療が必要でしょう。でも将来的に予防法が広まれば大事な仕事を休んでまで歯科へ行く必要はなくなるのではないかと現場に出ている僕は安直に考えました。しかしインドの毎日をその日の稼ぎで過ごしている人たちは、例えば無料であっても、よっぽどのが無い限り病院へ行かないでしょう。予防法

を知っていて虫歯になったならば、仕事休んで歯科へ行つて欲しい。でも知らないのであれば、医療関係者として責任を感じてしまいます。まずは予防の知識を広めたい。そして人手の足りない地域があるならば、お手伝いをしたい。国際保健に対してそんな思いを抱いています。

追伸・ポランテア・サークル「冒險歯科」も三年目を迎えました。強力なメンバーを加え、今後はどんな企画が持ち上がるやら楽しみです。北海道へお越しの際は是非ご一報を。

### Tom abroad 広がる歯科ポランテア

神奈川海外ポランテア歯科医療団(KADVO)からフィリピンに派遣されている歯科衛生士・海野智子さんに話を聞きました。

#### ◆任期と活動内容を教えてください。

任期は今年六月から来年三月までの十ヶ月間です。活動はブサイ小学校にて二年前より始まった「フッ素洗口プロジェクト」を行っています。他に歯磨きの習慣づけのため、毎朝音楽をかけてブラッシングの時間を設けたり、食事指導や現地歯科医による治療などを行っています。

他の小学校においてもフッ素洗口以外の歯科保健予防活動を行っています。



ブサイ小学校での健診の様子  
頭を押さえているのは現地アシスタントのマリンさん

無料診療も行っています。(現地の歯科医の協力を得て、診療所、ユニットや機材・器具の提供を受けています)

#### ◆現況を見て思う事は?

フィリピンに関して言えば、まだまだ歯科医療のプライオリティー、デンタルI.Q.が低いということがひしひしと感じられます。生活の保障ができていないので彼らはその日暮らしの生活をするので精一杯です。

ブサイ小でのことを言うと、生徒の両親は早朝に仕事(野菜・果物・花などを売る)に行つてしまつたため、子供へ十分な世話が出来ない。朝ごはんを食べてこないで駄菓子屋でお菓子を買って済ませるといふ生徒もいる。洋服も洗っていないようなものを着ていたり、体すら何日も洗っていないのではないかと...という生徒も見られます。歯ブラシどころではない状態があります。

JAICOH NEWS LETTERは、下記の各社のご協力を得て作成されております

**世界の  
歯科医療に貢献する**

歯は幸せへの序章

きれいにそろった歯は、まさに健康へのゲートであり、幸福のシンボルです。いくつになっても、さわやかな笑顔で人生を楽しく過ごしていただきたい。

歯科医療に関わるものとして、松風の究極の目標はそこにあります。

**株式会社 松風**

〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1 TEL:03-5561-1111 FAX:03-5561-1112

**むし歯の新しい処置と予防 全4巻**

監修 長崎大学歯学 佐藤洋一

I.むし歯ってどうしてできるの?  
- 脱灰と再石灰化のはなし -

II.おうちでできるむし歯予防  
- 脱灰をふせぐセルフケア -

III.むし歯のはじまり(脱灰)の処置  
- フロアエシヨナルゲア -

IV.上手につかってむし歯予防  
- 再石灰化をたすける物質 -

各巻定価:本体12,000円+税  
4巻セット価格(本体45,000円+税)

**株式会社 デンタルダイヤモンド社**  
〒101-0064 東京都千代田区千代田1-4-13 2F 2F デンタルビル  
TEL:03-6219-2571 FAX:03-6219-2707 http://www.dentaldiamond.co.jp

**精度と信頼**  
PRECISION & RELIABILITY

**ナカニシの製品は、  
世界120ヶ国以上で  
愛用されています。**

**NSK** 株式会社 ナカニシ

〒322-8666 栃木県鹿沼市下日向700  
TEL:0289-64-3380 FAX:0289-62-5836  
http://www.nsk-nekanishi.co.jp

tiv  
ISO 9001  
ISO 14001

◆現地から見て日本のボランティアはどう写っていますか？

自然にボランティアができる体制が整えばもっと広がるように思います。例えば、仕事を辞めなくても参加できるとか：仕事を辞めても、その後職場に復帰できる保障があれば、いろいろな人が携われる気がします。

◆国際協力を志す人々に望む事は？  
現地サイドの人々の意見や考え、習慣などを把握した上で行うことが大切なので、あらかじめ現地調査を十分に行い、現地サイドとの要望と日本側の要望が一致するような活動を目指して欲しいです。

◆プロフィール  
まだまだ短期間の国際協力が一般的ですが、最低一年くらいは滞在して活動して欲しいものです。私が果たしてこれらのことをどれくらいできているかは疑問ですが…。

▽うんの ともこ 二十九歳 埼玉県立衛生短期大学 歯科衛生学科卒業。95年「JAICOH」の会員になる。以来、「SHARE」「地球市民の会」在日外国人向け健康診断のボランティア。「DHネット」主催の「海外で働くための勉強会」、スリランカスタディツアー。「JAICOH」東歯大主催のミヤンマースタディツアーなどに参加。二〇〇〇年、KADVOの会員になる。

### JAICOH総会報告

JAICOH理事 沼口麗子

七月七日、東京医科歯科大学歯学部病院事務棟四階演習室において、二〇〇二年度総会が開催されました。当日は役員、サポーターイングメンバー、学生など約三〇名が集まりました。二〇〇一年度事業報告

#### 新役員承認

諸報告 深井会長

JAICOHワークショップ

学生研修ワークショップ

国際歯科保健医療NGOダイレクター

シーズプロジェクト

ニューズレター

決算報告 会計

未納会員が多い

二〇〇二年度事業計画案

広報活動を充実させたい等

予算

現会員数二四五名、会費納入会員をふやしたいの報告がありました。

#### 協議事項

本年度シーズプロジェクト助成団体

について

国際歯科保健医療NGOダイレクター

について

ニューズレターについて

本年度研修会について

活動報告

モンゴル 黒田

トンガ 時田  
フィリピン 河野  
ネパール 沼口

それぞれの報告後、参加者との議論が行なわれ、現地に派遣している会員の現況や一つの国に日本から複数のボランティアが入っている現状についてどう考えるか等、活発な意見交換が行なわれました。

## 歯科保健医療国際協力協議会役員

二〇〇二年四月～二〇〇四年三月

### ●会長

深井穂博（ネパール歯科医療協力会・三郷市開業）

### ●副会長

黒田耕平（日本モンゴル文化経済交流協会・神戸生協協同歯科）

夏目長門（日本口唇口蓋裂協会・愛知学院大学歯学部口腔外科第二講座）

鈴木基之（昭和大学歯学部歯周学講座）

### ●理事

時田信久（南太平洋医療隊・坂戸市開業）

原田祥二（北海道アイデン協会・小樽市開業）

河野伸二郎（神奈川県外ボランティア歯科医療団・横浜市開業）

澤田宗久（南太平洋に

歯科医療を育てる会・大阪市開業）

阪市開業）

森下真行（日本歯科ボランティア機構・広島大学歯学部予防歯科学講座）

柴田享子（DHネットワーク・歯科衛生士）

田中健一（北京朝陽天衛診療所）

阿部 智（東京医科歯科大学大学院）

小原真和（有夢会・品川区開業）

有川量崇（日本大学松戸歯学部衛生学講座）

菊池陽一（神奈川県外ボランティア歯科医療団・伊具郡開業）

白田千代子（中野区北部保険福祉相談所・歯科衛生士）

沼口麗子（ネパール歯科医療協力会・練馬区開業）

羽中田元美（歯科ペンクラブ）

### ●監事

金沢紀子（日本口腔保健協会）

眞木吉信（東京歯科大学教授・衛生学講座）

### ●顧問

神原悠紀田郎（愛知学院大学歯学部名誉教授）

鶴巻克雄（元FDI会長・東京都開業）

石井拓男（東京歯科大学教授・社会歯科学教室）

村居正雄（前会長・長野県開業）

サポーターイングメンバー

宮崎秀夫（新潟大学歯学部予防歯科学講座）

小宮愛恵（国際協力事業団）

桑瀬智子（ネパール歯科医療協力会・歯科衛生士）

ご協力いただいております

**スーパーボンドは、1982年に発売以来基本組成を全く変えておりません。**

矯正に、補綴物の装置に  
動揺歯の固定に  
支台築造に、垂直咬折歯の保存に  
生活歯牙質切削面の保護に

信頼と実績の  
多目的歯科用接着材料

**スーパーボンド**

サンメディカル株式会社  
フリーダイヤル：0120-418-303  
URL: http://taihei.co.jp/sunmedical/